

【記者発表資料】

準絶滅危惧種のハマボウを工事完成に伴い本植えしました。

～自然環境保護に取り組みながらの工事が完成～

1) 概要

延岡市に流れる沖田川には準絶滅危惧種であるハマボウが群生しており、これまで地元住民の保護活動により守られてきました。

今回、沖田川に架かる塩浜高架橋の補修工事においてハマボウ群生地に工事用道路が必要であった為、支障範囲にあるハマボウに影響のない位置に仮移植して工事を進めてきましたが、このたび工事が完成したことにより工事用道路を撤去し、仮移設したハマボウを元の場所に本植えしました。

2) 施工内容

施工時にハマボウの群生に極力影響を与えないよう工事用道路の形状を検討すると共に、沖田川のハマボウについて調査・植樹等の保護活動を行っている「県北植物愛好会」の会長である塩満啓蔵氏に助言を頂き、影響のあるハマボウを一時的に仮移植するよう計画・実施しました。

今回の本植えでは、塩満氏に現地で移植方法について指導して頂き、76本のハマボウを仮移植箇所から元の場所に移植しました。

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局

延岡河川国道事務所 道路管理課長

延岡国道維持出張所長

きたひら きょうじ
北平 京治
なす かずひこ
那須 一彦

電話：0982 - 31 - 1155 (代表)

準絶滅危惧種のハマボウを工事完成に伴い本植えしました



塩浜高架橋 平面図

